

道德教育実践事例原稿公募についてのお願い

日本道德教育学会研究委員会

この「道德教育実践事例アーカイブ事業」は、本学会研究委員会がその窓口となって優れた道德教育実践事例を公募し、応募要件確認検討を実施した上でホームページに公開し、会員の研究・実践に資することで相互交流がより促進されることを目的に実施して参ります。このような趣旨に是非ともご賛同いただき、積極的に道德教育実践事例原稿を投稿いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

日本道德教育学会研究委員長 田沼茂紀

《道德教育実践事例原稿公募要領》

1. 事業目的 会員の優れた道德教育実践事例を公募し、その成果を学会ホームページにて公表する。

2. 投稿要件

①本学会員であること。

②公募する道德教育実践事例は幼児教育から大学教育までを対象とし、研究・実践の目的や内容、教材開発や指導法や教材開発の創意工夫、道德教育カリキュラムや指導體制等の創意工夫において斬新さ、有用性、論理的妥当性を有する優れた実践と認められること。応募事例については、研究委員会で複数名にて応募要件確認検討を行う。

③ 公募する実践事例の分類は、以下の通りとする。（応募時に実践事例分類を明記のこと）

公募分類Ⅰ 道德科授業の工夫（教材活用・指導法・教材開発）に関する実践

公募分類Ⅱ 道德教育カリキュラム・指導體制の工夫に関する実践

公募分類Ⅲ 上記以外の実践事例

④ 応募実践事例原稿は公刊雑誌や単行本に未発表のもの（研究発表等はこの限りではない）とする。

また、実践事例原稿応募テンプレートによる文書とし、動画等での事例応募は受け付けない。

⑤ 投稿実践事例原稿は学会ホームページにて公開等する点を考慮し、A4用紙 横書き（Word 文書 40字×40行、最大8枚を基準とする）で作成し、学会ホームページ研究委員会ページ所収の応募テンプレートへ貼り付けて学会事務局研究委員会宛〔日本道德教育学会事務局 〒225-0003 横浜市青葉区新石川 3-22-1 國學院大學田沼研究室内 日本道德教育学会研究委員会事務局宛 TEL045-904-7677／E-mail：stanuma@kokugakuin.ac.jp（事務局担当）〕へ提出するものとする。

⑥ 原稿応募締切りは、令和2年11月末日

3. 応募要件確認と結果通知

①応募実践事例原稿は研究委員会にて投稿要件に照らして確認し、優れていると判断された事例はコンテンツ毎に分類して学会ホームページで令和3年度学会春季大会までに公開する。

②応募実践事例原稿の投稿要件確認検討結果は、速やかに本人宛へ通知する。公開に到らなかった実践事例原稿については、研究委員会よりコメント等を附して通知する。